




各 位

平成 30 年 11 月 8 日

会 社 名  日本タンクステン株式会社  
 代表者名 取締役社長 後藤 信志  
 (コード番号 6998 東証2部、福証)  
 問合せ先 取締役執行役員 大島 正信  
 経営戦略本部長  
 (TEL 092-415-5500)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年5月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,300	650	810	570	235.84
今回修正予想 (B)	12,600	990	1,110	830	341.85
増減額 (B - A)	1,300	340	300	260	
増減率 (%)	11.5	52.3	37.0	45.6	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	11,102	755	980	696	288.51

#### 2. 平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,700	470	780	480	198.60
今回修正予想 (B)	11,600	690	1,020	800	330.22
増減額 (B - A)	900	220	240	320	
増減率 (%)	8.4	46.8	30.8	66.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	10,540	590	808	581	240.87

### 3. 修正の理由

平成31年3月期の連結及び個別の通期業績につきましては、売上高は、情報機器関連のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板や自動車関連のEV用接点製品が当初見込みよりも好調に推移しております。

また、衛生用品関連のNTダイカッターも国内、海外ともに顧客の設備投資が堅調に推移していることから、当初予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、下期に業務効率化を目的としたRPA（Robotic Process Automation）などのシステム関連費用や、設備導入に伴う減価償却費等の増加が見込まれますが、売上高が堅調に推移していることから当初予想を上回る見込みとなりました。

以上により、通期業績の予想を連結、個別ともに修正いたします。

なお、当社は、平成30年5月10日に公表した配当予想について修正することといたしました。詳細は本日（平成30年11月8日）公表の「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上